

慶蔵院寺報

公孫樹

2020年6月発行

第101号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町 1211

TEL 0596 (22) 3726



キサンのシンギングボウル

西里定一 画

母の願いは、寺の高堀の修復

療養中の母親より、寺の高堀を修復したいから…と寺への寄付の申し出がありました。高堀は、伊勢湾台風で傷み瓦がとりはずされ、コンクリートで固められた屋根の状態でした。それから六十年、セメントがはがれだしている壁の姿を、「自分が元氣な間に何とかしたい…」というのが母親の長年の願いであつたようです。

一級建築士でもある弟が、病床で母親の思いを聞きとり、図面に出しました。高堀の屋根は瓦葺にする。壁は剥がしながら、モルタル洗い出しにし、裏門の幅を広げて、木製の門を配置し、玄関までの石畳を敷く…。また農機具を移転し車庫の整備を行う…とうものでした。寺としての景観を整えたいというのが母親の意向だということです。

「何かを残していきたい…」という願いを無下に断ることも出来ず、檀家総代・寺世話三役のみなさんに集まっていたき、二回にわたって相談にのっていただきました。そして総代・三役のみなさんに母親の寄付の意向を受取っていただく形として、六月より約二ヶ月の日程工事を進めさせていただくことになりました。

工事の間、何かと不自由をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願ひします。

母親は、九十一歳になります。心臓と腎臓が弱ってきて、ハートセンターにて入退院を繰り返しつつ、養生につとめてまいりましたが、五月の連休に自宅にもどる在宅看護となりました。その時が来るまで兄弟・家族、力を合わせて、分担し合い、やれることをやらしていただけのこと、大切な日々であり、
ありがたいことだと感謝しております。



6月の行事予定



3日(水)	写経会 映画会	中止させていただきます
10日(水)	念仏会	中止させていただきます
17日(水)	健康教室 男性詠唱隊	中止させていただきます
24日(水)	読経会	中止させていただきます
25日(木)	戦没者慰霊 平和の鐘鳴鐘	中止させていただきます
4日・18日(木)	英語教室 講師 三浦邦昭先生	午前10時～ 午後1時半～ 参加費1回1000円
8日・22日(月)	華道教室 講師 山室千峰先生	午後1時～
14日(木)	高野葉先生の ヒーリング	午前10時～12時(一会館にて) (予約 080-8250-2520)
予約があれば水曜日	キサン シンキングボウル ヒーリング	午後1時～ 要望に応じて30分～60分

寺行事の中止のお願い

五月に続き、六月の行事も上記のようにさせていただきます。コロナの状態は下火になってきている様にも思われますが、まだまだ油断はできないと思います。むしろこの機会に、日頃なかなか取り組めなかったことなどにじっくりと取り組むのも良いかもしれない...と考えたりしています。ちょうど向こう二ヶ月にわたって境内の高塀工事も入ってきました。行事や活動にとっても、メンテナンスの時期ととらえて、じっくりのはと点検を行い、再出発の日までしっかりと足腰を鍛え治したいと思います。

倉野正和さん
太田茂男さん
松家昇さん
宮西栄子さん
倉野明彦さん
飯田信雄さん

令和2年度の
寺世話人の皆さまです
今年度もどうぞ
よろしくお願いします

檀家総代として奥田さん
寺世話人三役として、
太田さん、山西さん、大西
稔さん。お世話様です。



山西暁彦さん
中村淳さん
橋爪求さん
堀江明さん
川元正春さん
大西稔さん
藤原幸夫さん

大西弘土さん
森下幸さん
倉野幸次さん
奥田悦生さん
椋本卓史さん
奥野正志さん



浄土宗新聞より

お世話になりました ともいきハウスおくやま

を 開所させていただきます!



「ともいきハウスおくやま」を五月末をもって閉所させていただくことになりました。ご利用いただいた皆さん、またご協力いただいた皆さん、あつく御礼申し上げます。

皆さんに利用券、六枚つづり五百円を購入していただき、これと社協よりいただく補助金十五万円と合わせて必要経費に充当してきました。何とか多くの方に利用していただける内容にすることによって、安定した運営をめざしてきましたものの、五月は開催することが出来ず、六月も見通しが持てない状況の中、今回の決断に至りました。

現在、お手元に利用券をお持ちの皆様をお願いします。恐れ入りますが、しばらくなくさないようにお願いします。コロナ収束の時期までには、連絡をさせていただきます。

昨年度一年間の活動をみても、年間、延べ千五百名以上の方の利用があり、スタッフとしてかわって下さった皆さんは、延べ二百五十人を超えています。なんとか運営努力をつみかさされていくことにより、次のステップを目指したいと続けてきたのですが、やむなく今回の決断にいたったことについて、ご了解を頂きますよう、よろしく申し上げます。



お願いがあります

四面で神谷成章先生が話してくださいました内容をお伝えしていますが、皆さんにあらためて左記のことをお願いしたいと思います。

① 空いている土地がありましたら、そこでサツマイモを植えていただけませんか。苗や必要な資材は全て提供させていただきます。収穫されたサツマイモは全て買い取らせていただきます。

② 空いている田畑がありましたら、お貸しいただけませんか。サツマイモ・ジャガイモ・玉葱・ネギ大根などをつくらせていただきます。

③ 農機具・貯蔵用の冷蔵庫・貯蔵倉庫・漬物樽・漬物タンク・作業場所などお貸しください。

いろいろと相談に乗っていただけるとありがたいです。ご連絡下さい。



梅雨入りのこんな時こそ傘になる

奥田 悦生

(「知恩」誌六月号「柳壇」に掲載)



一味誌再々刊

第5号

日の目のあたらしめ
納屋の奥で
玉葱が
素晴らしい勢いで
新芽をふとい
彼の内には 如来さまの
生命が燃えさかして
ころからです
中野善英^{上人}

洞爺湖サミットの際、気候変動・地球温暖化の問題について、意見陳述・提案を行なったのが、私たちの農業の先生である神谷成章先生。先の伊勢志摩サミットでも、質問が出たら応えることが出来るのは神谷先生しかないから…と再び招請されました。ヘリコプターが迎えに来たそうです。しかし質問すらでませんでした。

この間、気候変動・地球温暖化への世界の対応は、進展するどころか、むしろ逆行する事態が続いてきました。神谷先生はいます。

「今年は百年に一回の大変な年になる。これから毎年、こんな状態が続く…。世界中の農業ができなくなり、食糧危機が起こる。それに備えなければならぬ。檀家さんに呼び掛けて、空いている畑や家庭菜園の場所があったら、どれだけでもいいからサツマイモを栽培してもらおうとよい。苗はこちらで提供する。農薬無しで栽培できる。できたサツマイモを神宝農産で全部買い上げる。それを貯蔵して、一年中保存し、いつでも出せるようにしておく。いざという時には、檀家中に配れるようにしておく。ジャガイモも玉葱もネギも栽培していく。一年中保存が出来る玉葱を開発した。必要な時には芽を出さすこともできる…」と。

九十一歳の神谷先生、あと十年、世界に求められている仕事を貫くと意気軒高です。仏に生かされている私たち。私たちの「いのち」の源としての野菜たちもまた仏に生かされているのです。